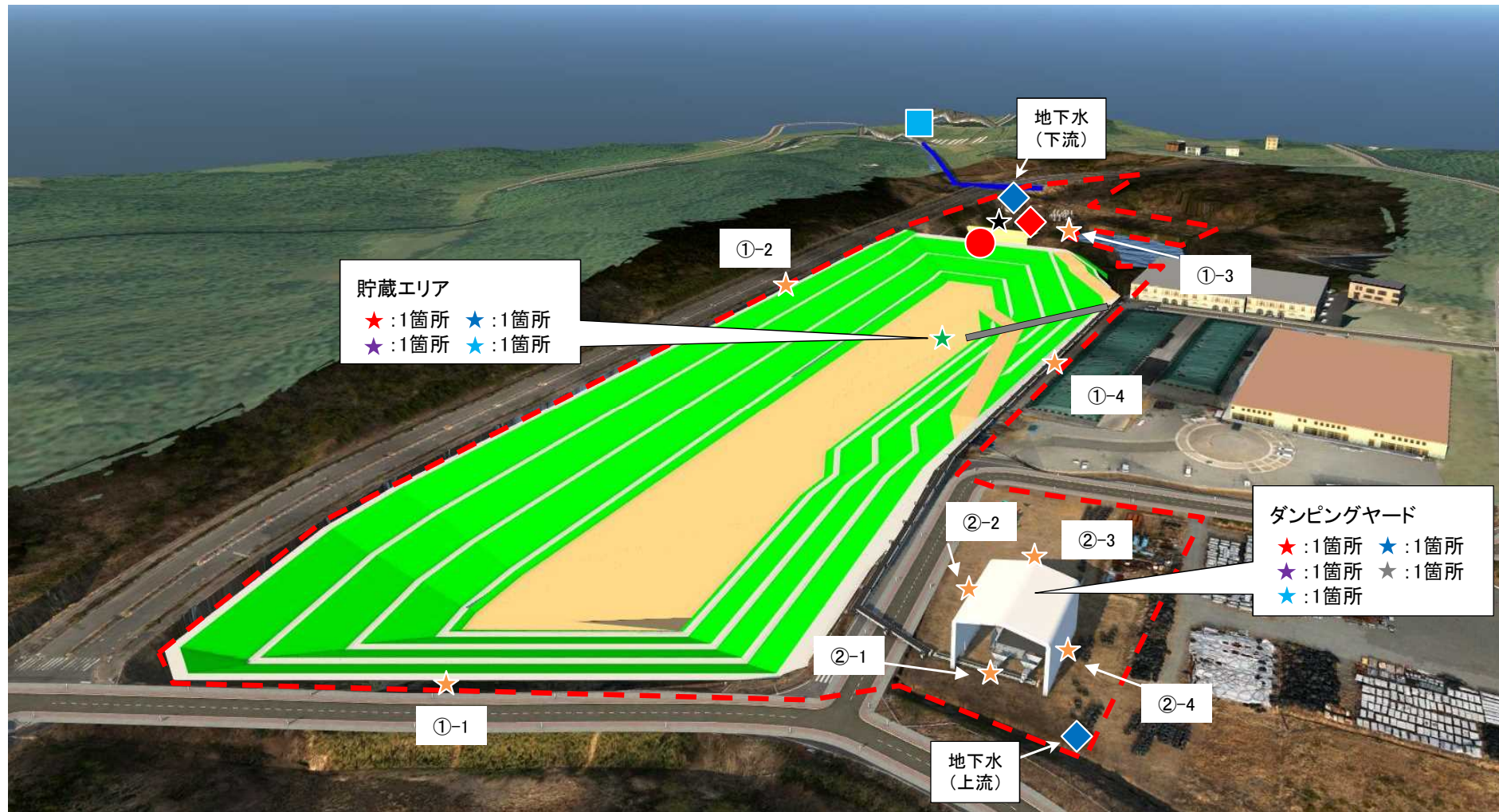


土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



★: 施設の位置

【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(設備)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(床)
- ★: 表面汚染密度(重機)

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8
	2020/3/6	(稼働後)	79	9
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2020/3/6	(稼働後)	18	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2020/3/28	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/3/6		7.8	1	18	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値 最大値		
2020/3/2 ~2020/3/31	68	0.0 0.0	ND	1819.8

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/3/6		7

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2020/3/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	0.2
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.34
貯蔵エリア	0.74

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/6 (稼働後)
	Cs-134 (Bq/cm³) Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	ND ND
貯蔵エリア	ND ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2020/3/6 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①-1 ND ①-2 ND ①-3 ND ①-4 ND
ダンピングヤード	壁 ②-1 ND ②-2 ND ②-3 ND ②-4 ND 床 ND 設備 トラックホッパー ND
貯蔵エリア	設備 法面ベルトコンベア ND 重機 バックホウ ND ブルドーザー ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8
	2020/2/7	(稼働後)	96	9
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2020/2/7	(稼働後)	20	12

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2020/2/7	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/2/7		8	ND	16	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2020/2/1 ~2020/2/29	75	最小値 0.0 最大値 0.0	ND	2331.8

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/2/7		4

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2020/2/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/2/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	0.1
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/7 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.34
貯蔵エリア	0.76

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/7 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≦ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/2/7 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①-1	ND	
	①-2	ND	
	①-3	ND	
	①-4	ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
	床		ND
	設備	トラックホッパー	ND
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	ND
	重機	バックホウ	ND
		ブルドーザー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8.0
	2020/1/9	(稼働後)	62	8.0
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2020/1/9	(稼働後)	21	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2020/1/9	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/1/9		7.7	2	29	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2020/1/6 ~2020/1/31	56	0.0 0.0	ND	1552.8

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/1/9		24

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2020/1/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/9 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	0.8
貯蔵エリア	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/9 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.31
貯蔵エリア	0.70

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/9 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/1/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①-1	ND	
	①-2	ND	
	①-3	ND	
	①-4	ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
	床		ND
	設備	トラックホッパー	ND
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	ND
	重機	バックホウ	ND
		ブルドーザー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8.0
	2019/12/6	(稼働後)	73	8.0
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2019/12/6	(稼働後)	22	11

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2019/12/6	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/12/6		8	ND	30	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/12/1 ～2019/12/31	21	0.0	0.0	ND	572.5

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/12/6		3

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2019/12/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/12/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	0.4
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.32
貯蔵エリア	0.65

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/6 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3} \leq 1$

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/12/6 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①-1	ND	
	①-2	ND	
	①-3	ND	
	①-4	ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
	床		ND
	設備	トラックホッパー	ND
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	ND
	重機	バックホウ	ND
		ブルドーザー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8.0
	2019/11/12	(稼働後)	94	7.0
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2019/11/12	(稼働後)	24	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2019/11/13	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/11/12		8.1	ND	27	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/11/1 ~2019/11/30	50	最小値 0.0 最大値 0.0	ND	1275.6

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/11/12		3

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2019/11/11	(稼働後)	ND	1.1

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/11/12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	0.2
貯蔵エリア	0.5

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/12 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.30
貯蔵エリア	0.67

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/11/12 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①-1	ND	
	①-2	ND	
	①-3	ND	
	①-4	ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
	床		ND
	設備	トラックホッパー	ND
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	ND
	重機	バックホウ	ND
		ブルドーザー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8.0
	2019/10/8	(稼働後)	53	8.0
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2019/10/8	(稼働後)	21	11

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2019/10/28	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/10/8		7.9	1	34	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/10/1 ~2019/10/31	312	0.0	2.0	ND	9113.4

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/10/8		2

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2019/10/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/10/8 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	ND
貯蔵エリア	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/10/8 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.33
貯蔵エリア	0.54

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/8 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度 $\times 2 \times 10^{-3}$ + セシウム137の濃度 $\times 3 \times 10^{-3} \leq 1$

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/10/8 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①-1	ND	
	①-2	ND	
	①-3	ND	
	①-4	ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
	床		ND
	設備	トラックホッパー	ND
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	ND
	重機	バックホウ	ND
		ブルドーザー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8.0
	2019/9/4	(稼働後)	47	8.0
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2019/9/4	(稼働後)	22	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2019/9/9	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/9/4		7.6	ND	7	ND

pH基準：5.8～8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/9/1 ～2019/9/30	86	最小値 最大値 0.0 2.0	ND	2328.1

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/9/4		4

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2019/9/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/9/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	0.3
貯蔵エリア	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/4 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.34
貯蔵エリア	0.24

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/4 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2019/9/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①-1 ND ①-2 ND ①-3 ND ①-4 ND
ダンピングヤード	壁 ②-1 ND ②-2 ND ②-3 ND ②-4 ND 床 ND 設備 トラックホッパー ND
貯蔵エリア	設備 法面ベルトコンベア ND 重機 バックホウ ND ブルドーザー ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8
	2019/8/9	(稼働後)	80	7
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2019/8/9	(稼働後)	22	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2019/8/9	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/8/9		8	ND	16	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/8/1 ~2019/8/31	136	0.0	3.0	ND	3791.5

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/8/9		1

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2019/8/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/9 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	0.2
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/9 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.31
貯蔵エリア	0.24

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/9 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/8/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①-1	ND	
	①-2	ND	
	①-3	ND	
	①-4	ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
	床		ND
	設備	トラックホッパー	ND
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	ND
	重機	バックホウ	ND
		ブルドーザー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年7月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8
	2019/7/4	(稼働後)	46	5
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2019/7/4	(稼働後)	17	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2019/7/4	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/7/4		7.1	ND	9	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/7/1 ~2019/7/31	113	最小値 最大値 0.0 4.0	ND	3239.5

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/7/4		24

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2019/7/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/7/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	0.1
貯蔵エリア	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/7/4 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.33
貯蔵エリア	0.21

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/7/4 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/7/4 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①-1	ND	
	①-2	ND	
	①-3	ND	
	①-4	ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
	床		ND
	設備	トラックホッパー	ND
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	ND
	重機	バックホウ	ND
		ブルドーザー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年6月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8
	2019/6/6	(稼働後)	57	8
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2019/6/6	(稼働後)	17	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2019/6/6	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/6/6		7.3	2	4	4

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/5/29 ~2019/6/29	49	0.0	3.0	ND	1777.2

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/6/6		5

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2019/6/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/6/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	1.6
貯蔵エリア	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/6/6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.31
貯蔵エリア	0.19

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/6/6 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/6/6 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	①-4	ND
ダンピングヤード	壁 ②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	②-4	ND
	床	ND
	設備	トラックホッパー
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア
	重機	バックホウ

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年5月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8	(稼働前)	61	8
	2019/5/28	(稼働後)	54	7
下流	2019/5/8	(稼働前)	18	10
	2019/5/28	(稼働後)	17	9

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2019/5/28	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

浸出水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定日	測定項目	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
2019/5/28		3

SS基準：60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2019/5/28	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/5/28 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンピングヤード	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/5/28 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	0.33
貯蔵エリア	0.19

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/28 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/5/28 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①-1	ND	
	①-2	ND	
	①-3	ND	
	①-4	ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
	床		ND
	設備	トラックホッパー	ND
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	ND
	重機	バックホウ	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²